

「やってみたい」と心が動き、
夢中になって遊ぶ幼児をめざして
～保育記録を通して環境構成や教師の援助を探る～



津山市立つやま西幼稚園

【3歳児(年少)】

1 教師の願い

○教師や友達と同じ物を持ったり身に付けたり、同じ場所で過ごしたりしながら、一緒に過ごす嬉しさを感じ、したい遊びを十分に楽しんでほしい。

○教師や友達と一緒に過ごす中で自分の思いを少しずつ態度や言葉で表現するようになってほしい。

2 ねらいと内容 (○ねらい・内容)

○自分なりに思ったことや感じたことを表現しながら、友達と同じ場で遊ぶ嬉しさを感じる。

・教師や友達と同じ場所で遊んだり、同じ物を作ったりする。

・同年齢や異年齢の友達と一緒に体を動かして遊ぶ。

・ドングリやマツボックリ等、秋の自然物を見たり触れたりして遊ぶ。

3 評価の観点


教師や友達と同じ場所や同じ遊びをしながら自分の思いを表現することができたか。

4 本日の保育と人権教育

幼児が自分なりに言葉で伝えたり、動きで表したりする姿を認め、幼児の思いに共感することで、教師との信頼関係を基盤に安心感をもって自分を表現することができるようにする。



5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。 ・持ち物の始末をする。 ・シールを貼る。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり、絵本を見たりする。「山の音楽家」、 『どんぐりとんぼろりん』</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>◎早く遊びたくて持ち物の始末を始めにくい幼児には、机や持ち物を入れるカゴ、掛ける物等を近くに寄せ、スムーズに始末ができるような配置にする。</p> <p>◎幼児の目に付きやすい場所に玩具や用具を置いたり、なりきる物を置いたりして、幼児がやってみたいと感じられるようにする。</p> <p>★幼児が自分でやってみようとする姿を見守りながら、やりたいことを実現できるように、手伝ったり、一緒に考えたりする。</p> <p>★幼児が自分の思いを言葉や態度で伝えたいようになるように、一緒に遊びを楽しみ、遊びの中での嬉しい気持ちや「なぜ?」という気持ちに共感する。</p> <p>・気持ちを切り替えにくい幼児には、視覚的に終わりが分かるように示したり、次の活動を知らせたりすることで、幼児が見通しをもって次の活動に切り替えられるようにする。</p> <p>・異年齢の友達との関わりに緊張しやすい幼児には、教師も仲間になりながら一緒に触れ合い遊びを楽しむことで安心して少しずつ関わるようにする。</p> <p>・まだ遊びたい幼児には、その気持ちを受け止め、“○○が終わったら終わり”と幼児と一緒に終わりを決めたり、ごっこ遊びのイメージを大切にしながら楽しい気持ちで終わることができるように声掛けに配慮をしたりして、幼児が納得して降園準備を始められるようにする。</p> <p>★今日の遊びの様子について実物を見せたり、実際の場所を知らせたり、関わっていた幼児に頑張りを聞いたりすることで、“自分もしてみたい”“明日もしたい”という気持ちになるようにする。</p>

【4歳児(年中)】



1 教師の願い

- 教師や友達と戸外で体を十分に動かして遊び、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じてほしい。
- ケーキやアクセサリーの場で木の実等自然物の特徴を捉え、色や形を活かしながら工夫して使ったり作ったりしてほしい。
- 自分なりの言葉で思いを伝えたり、友達の話聞いて相手の思いに気付いたりして遊んでほしい。

2 ねらいと内容 (○ねらい・内容)

- いろいろな遊びに興味や関心を持ち、自分の思いや考えを出しながら、自分のしたい遊びを十分楽しむ。
- ・先生や友達と一緒に繰り返し体を動かして遊ぶ。
- ・友達や年長児の刺激を受けて、自分からやってみようと試したり工夫したりする。
- ・自分の思いを言葉で伝えたり、友達の話聞いてしたりする。

3 評価の観点

自分のしたいことが十分でき、思いや考えを出しながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむことができていたか。

4 本日の保育と人権教育

自分の思いを伝えようとしていたり、友達の話聞いてこうとしていたりする姿を認め、友達に思いを伝える嬉しさを感じたり、友達の思いに気付いたりすることができるようにする。



5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 ・シールを貼る。 <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり絵本を見たりする。「やきいもグーチーパー」、『おかえし』</p> <p>○振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母親から離れにくい幼児には、今日の遊びを楽しみにできるような話をしたり、気持ちが切り替わるように声を掛けたりして、必要に応じて教師間で連携しながら保育室に行けるようにする。 ・遊びに気持ちが移りやすく、持ち物の始末に時間のかかりやすい幼児には、表示や始末する物を見せて見通しをもたせたり、必要に応じて手伝ったりする。一つずつ持ち物の始末が終わったことを認め、定着につながるようにする。 <p>★年長児や友達が遊んでいる様子を周りに知らせたり、教師も一緒に遊んだりすることで、年長児や友達のしていることに関心を持ち“自分もやってみたい”という気持ちをもてるようにする。</p> <p>★遊びの中で遊具の取り合いになったり、互いの思いが違ったりしてトラブルになった時は、それぞれの思いを丁寧に聞いて受け止め、幼児が互いの思いに気付くことができるように、必要に応じて気持ちを代弁したり、一緒に考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師も一緒に片付けをしながら、仕方を知らせたり、進んでしようとする姿を認めたりして、自分たちで意欲的に片付けられるようにする。 <p>◎参加しにくい幼児には、手拍子やうちわで盛り上げる等参加できるように促したり、友達や教師の様子が見える場所に椅子を用意したりして、一緒に楽しむことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園準備に気持ちが向きにくい幼児には、この後の歌や絵本を楽しむにできるよう声を掛け、必要に応じて教師と一緒に手伝いながら、降園準備ができるようにする。 ・じゃんけん遊びをして楽しい雰囲気をつくりながら、全員が揃うのを待ち、落ち着いて絵本が見られるようにする。 <p>★今日のことを振り返りながら、友達の話を聞こうとしたり、自分の思ったことを自分なりの言葉で伝えようとする姿を認め、明日も楽しみに登園できるようにする。</p>

【5歳児(年長)】



1 教師の願い

- 自分の思いを素直に伝えたり、友達の思いや考えを聞いたり受け入れたりしながら、自分たちで遊びを進める楽しさを味わってほしい。
- 同じ目的をもって、友達と思いや考えを出し合いながら遊ぶことを楽しんでほしい。

2 ねらいと内容(○ねらい・内容)

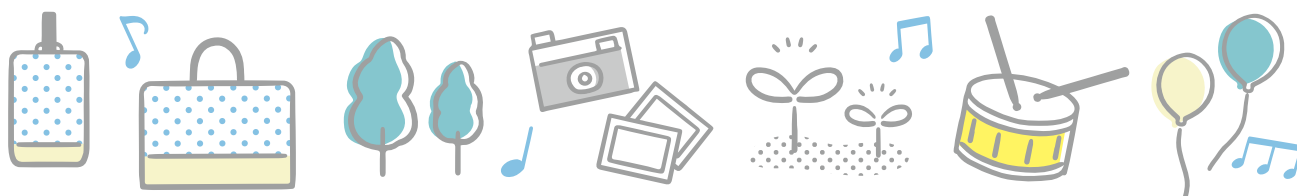
- 友達と目的をもって遊ぶ中で、思いや考えを伝え合いながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・役割を分担したり遊び方を決めたりしながら、友達と一緒に遊びを進める。
 - ・友達の思いや考えを受け止めたり、違いに気付いて話し合ったりする。

3 評価の観点

互いの思いを伝え合いながら、友達と一緒に遊びを進めることを楽しんでいたか。

4 本日の保育と人権教育

幼児同士で話し合っ遊びを進めている場面を見守りながら、必要に応じて仲立ちとなり、思いや考えの違いを知ったり、互いのよさに気付いたりできるようにしたりする。



5 本日の展開

<p>幼児の活動</p>	<p>◎環境構成 ・教師の援助 ★人権教育の視点から特に重要なこと</p>
<p>○登園する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 ・シールを貼る。 ・水やりやウサギの世話をする。 <p>○自ら選んだ遊びをする。</p>  <p>○片付けをする。</p> <p>○なかよしタイムをする。 「和っしょい津山」</p> <p>○降園準備をする。</p> <p>○歌を歌ったり絵本を見たりする。 「おひさまになりたい」、「パンのかけらとちいさなあくま」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>◎今日の片付けの時間や生活の流れを表示しておき、一日の生活の見通しをもてるようにしたり、自分達の生活を意欲的に進めることができるようにしたりする。</p> <p>★友達同士でやりとりをしながら遊びを進めていこうとしている姿を見守り、必要に応じて教師も一緒に考えたり、互いの思いや考えに気付くことができるように声を掛けたりする。</p> <p>★自分の思いと相手の思いが違い、自分の思うようにならずに葛藤している時には、自分の感情に向き合っている時間を大切に、温かく見守る。そして、自分の中で気持ちを切り替えたり折り合いをつけることができたりした時にしっかり認め、励ましていくようにする。</p> <p>★幼児が友達との関わりを楽しんでいる時には温かく見守る。思い通りにいかず気持ちがいらだった時には、幼児の気持ちを受け止めながら、自分の思いと友達の思いは違うことを知らせていく。</p> <p>・年長児として自信をもってリズムにのせて体を動かす姿を認め、みんなで気持ちよく体を動かす楽しさを味わえるようにする。</p> <p>★今日の遊びの中で友達に伝えたいことや知らせたいことなどを言葉に出しやすいように声を掛け、幼児の頑張りを認めたり、友達と思いを出し合いながら遊んでいた場面を知らせたりする。そして、それぞれの遊びの様子を共有したり、友達のアイディアの面白さや考え方の違いに気付くことができるようにしたりする。</p>